

# 平成28年度上半期 新・北海道病院事業改革プラン点検・評価書

## 目 次

第1章 全体評価	1
第2章 経営改善に係る評価	2
第3章 収支計画及び数値目標の達成状況に係る評価	9

## 第1章 全体評価

### 1 自己点検・評価

各道立病院では、経営改善に向けた取組方針に基づき、収益確保等に取り組んでいるが、病院事業全体として、上半期は、外来収益が前年度実績を上回っているものの、入院患者数の減により入院収益が減少し、医業収益は前年度実績をやや下回っている状況。費用については、北見・向陽ヶ丘病院の移転改築に伴う経費の増が生じたものの、縮減を図っている。

病院別の状況については、

- ① 地域センター2病院のうち、江差病院においては、常勤医が不在となった外科を中心に患者数が減少し、医業収益は前年度実績を下回った。また、羽幌病院は、入院患者数が減少する中、外来収益の増により前年度とほぼ同程度の収益が確保できた。
- ② 循環器・呼吸器疾患の高度・専門病院である北見病院においては、8月の新病院移転に伴う入院患者の調整等による患者減により入院収益は前年度実績を下回ったが、外来収益については、新病院移転効果等による新規患者増もあり、前年度実績を大きく上回った。
- ③ 精神2病院のうち、緑ヶ丘病院においては、精神科救急入院（スーパー救急）病棟は高い利用率を維持し、医業収益は前年度と同程度で推移。また、向陽ヶ丘病院においては、6月の新病院移転に伴う病床数減による患者減や精神保健指定医1名減による診療単価減等により、入院収益が減少した。
- ④ 小児の高度・専門医療機関である子ども総合医療・療育センターにおいては、ほぼ前年度並みの収益を確保している。

下半期に向けては、江差病院における地域包括ケア病床の設置や北見・向陽ヶ丘病院において新病院の機能を十分に活用するなど、患者確保や診療単価の増加に努め、費用の縮減と合わせ、収支改善に取り組む。

### 2 委員会点検・評価

- ・上半期は、向陽ヶ丘病院及び北見病院の新病院移転に向けた患者調整等の特殊事情があったものの、入院患者数及び入院収益の減少に歯止めがかかっていない。
- ・羽幌病院における地域包括ケア病床の運用開始、子ども総合医療・療育センターの産科再開など、収益確保に向けた新たな環境も整ってきたことから、患者数の確保に努めること。
- ・また、慢性的な欠員を生じている医師確保対策については、義務年限を終了した自治医科大学卒業医師や地域枠医師の積極的な活用策について検討するとともに、看護師・薬剤師確保対策とあわせて、独自手当の創設など地方公営企業法の全部適用移行のメリットを活かした人材確保策を検討すること。
- ・新たな道立病院改革プランの策定にあたって、近年の患者数の減少傾向や道立病院の所在する地域の人口推計なども考慮し、病床数のあり方についても十分な検討を行うこと。

## 第2章 経営改善に係る評価

### 1 収益の確保

プラン	自己点検・評価																																																																
<p>(1) 診療体制の整備</p> <p>ア 医師・看護師・薬剤師等医療従事者等の確保</p> <p>イ 幅広い診療を行うことができる総合内科医の確保</p> <p>ウ 研修医の採用拡大</p>	<p><b>&lt;人材確保の取組（医師・看護師・薬剤師等医療従事者確保の共通の取組）&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* インターネット（HP, Facebook, Twitter, メルマガ等）による医師・看護師・薬剤師等募集活動</li> <li>* 民間企業主催の説明会、道内外での医師・看護師・薬剤師募集活動 （医師：東京1回、大阪1回 看護師：東京1回、札幌3回 薬剤師：道内2大学、道外1大学）</li> <li>* 民間人材紹介事業者を活用した医師（4社）・看護師（5社）・薬剤師（1社）募集</li> <li>* 医師会・看護協会・薬剤師会等関係団体との連携や新聞（2紙）・情報誌等（5誌）での募集</li> </ul> <p><b>&lt;医師確保対策&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 道内3医育大学への医師派遣要請（20名） *自治医科大学卒業医師の確保（2名）</li> <li>* 医師本人の道立病院現地見学（2名応募） [その他：処遇改善、勤務環境改善など]</li> <li>* 医学研究調査手当の延長継続 [H26～H28]</li> <li>㊦医師事務作業補助者の拡充 [H27:9名→H28:12名(+3)]</li> </ul> <p><b>&lt;医師&gt;</b> (H28.9末現在)</p> <table border="1" data-bbox="645 791 1794 938"> <thead> <tr> <th></th> <th>江差</th> <th>北見</th> <th>羽幌</th> <th>緑ヶ丘</th> <th>向陽ヶ丘</th> <th>コトモックル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定数</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>43</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>現員数</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>40</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲5</td> <td>▲3</td> <td>▲6</td> <td>0</td> <td>▲1</td> <td>▲3</td> <td>▲18</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>&lt;看護師確保対策&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 看護師養成校訪問、合同就職説明会での職員募集活動による看護師確保（34名確保）</li> <li>* 民間の看護師就職情報サイトを活用した看護師募集</li> <li>* 道立病院のインターンシップの実施（7名）、㊦江差高等看護学院で説明会実施（4月）</li> <li>* 道外看護師養成校へのダイレクトメール発送、</li> <li>㊦採用試験実施回数・会場の拡大（札幌（毎月）、函館、北見、帯広、旭川、東京）、年齢要件の緩和（50歳→59歳未満） [その他処遇改善、勤務環境改善など]</li> <li>㊦病棟支援専門員の配置（5名） * 新人看護職員のキャリアサポート（19名）</li> <li>* 夜勤専従の実施（実人数7名、延べ15名）</li> </ul> <p><b>&lt;看護師&gt;</b> (H28.9末現在)</p> <table border="1" data-bbox="645 1326 1794 1471"> <thead> <tr> <th></th> <th>江差</th> <th>北見</th> <th>羽幌</th> <th>緑ヶ丘</th> <th>向陽ヶ丘</th> <th>コトモックル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定数</td> <td>113</td> <td>67</td> <td>46</td> <td>79</td> <td>65</td> <td>202</td> <td>572</td> </tr> <tr> <td>現員数</td> <td>82</td> <td>62</td> <td>40</td> <td>76</td> <td>56</td> <td>192</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲31</td> <td>▲5</td> <td>▲6</td> <td>▲3</td> <td>▲9</td> <td>▲10</td> <td>▲64</td> </tr> </tbody> </table>		江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計	定数	18	8	14	8	6	43	97	現員数	13	5	8	8	5	40	79	差引	▲5	▲3	▲6	0	▲1	▲3	▲18		江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計	定数	113	67	46	79	65	202	572	現員数	82	62	40	76	56	192	508	差引	▲31	▲5	▲6	▲3	▲9	▲10	▲64
	江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計																																																										
定数	18	8	14	8	6	43	97																																																										
現員数	13	5	8	8	5	40	79																																																										
差引	▲5	▲3	▲6	0	▲1	▲3	▲18																																																										
	江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計																																																										
定数	113	67	46	79	65	202	572																																																										
現員数	82	62	40	76	56	192	508																																																										
差引	▲31	▲5	▲6	▲3	▲9	▲10	▲64																																																										

プラン	自己点検・評価																																																																																
	<p><b>&lt;薬剤師・その他の医療技術者確保対策&gt;</b></p> <p>*道内薬科大学や養成校、職能団体への働きかけ    *採用試験の弾力的な実施（通年募集）  *薬剤師インターンシップの実施（3名）  ㊦採用試験実施回数・会場の拡大（札幌（毎月）、函館、北見、帯広、旭川、東京）、年齢要件の緩和（50歳→59歳未満）</p> <p><b>&lt;薬剤師&gt;</b> (H28.9末現在)</p> <table border="1" data-bbox="667 395 1816 564"> <thead> <tr> <th></th> <th>江差</th> <th>北見</th> <th>羽幌</th> <th>緑ヶ丘</th> <th>向陽ヶ丘</th> <th>コトモックル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>現員数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>▲1</td> <td>▲1</td> <td>▲1</td> <td>▲2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>▲5</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>&lt;その他の職種（現員数）&gt;</b> (H28.9末現在)</p> <table border="1" data-bbox="667 655 1816 922"> <thead> <tr> <th></th> <th>江差</th> <th>北見</th> <th>羽幌</th> <th>緑ヶ丘</th> <th>向陽ヶ丘</th> <th>コトモックル</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線技師</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>		江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計	定数	3	3	2	3	2	4	17	現員数	2	2	1	1	2	4	12	差引	▲1	▲1	▲1	▲2	0	0	▲5		江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計	放射線技師	5	3	3	2	2	8	23	検査技師	5	4	3	3	2	12	29	臨床工学技士	2	3	1	-	-	3	9	理学療法士	2	-	2	-	-	14	18	作業療法士	1	-	-	6	2	7	16
	江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計																																																																										
定数	3	3	2	3	2	4	17																																																																										
現員数	2	2	1	1	2	4	12																																																																										
差引	▲1	▲1	▲1	▲2	0	0	▲5																																																																										
	江差	北見	羽幌	緑ヶ丘	向陽ヶ丘	コトモックル	計																																																																										
放射線技師	5	3	3	2	2	8	23																																																																										
検査技師	5	4	3	3	2	12	29																																																																										
臨床工学技士	2	3	1	-	-	3	9																																																																										
理学療法士	2	-	2	-	-	14	18																																																																										
作業療法士	1	-	-	6	2	7	16																																																																										

■委員会点検・評価

- 今後、必要な診療科に必要な医師数を確保するため、時期を逸することなく、各医育大学に医師派遣要請を行うこと。
- 医師の負担軽減策として配置している医師事務作業補助者については、その効果を検証すること。
- 医師・看護師・薬剤師の不足は、医業収益にも影響することから、欠員の解消に向けて、地方公営企業法の全部適用への移行を機に、業務内容に応じた諸手当の設定や勤務条件の改善等、確保対策の強化を検討すること。

プラン	自己点検・評価																																										
<p>エ 高度な医療機器等の整備</p> <p>オ 病床の効率的な運用</p> <p>カ 医療安全対策の徹底</p> <p>キ クリニカルパスの導入の検討</p> <p><b>(2) 患者サービス・療養環境の向上等</b></p> <p>ア 患者満足度調査の実施</p> <p>イ 患者のニーズに応じた満足されるサービスの提供</p> <p>ウ 必要な施設・設備整備の検討</p> <p>エ 安全かつ快適で利便性の高い療養環境づくり</p> <p><b>(3) 広報の充実</b></p> <p>ホームページや広報紙等による積極的な広報活動</p>	<p>○今年度整備予定の主な医療機器 *江差：CT（更新）、MRI（アップグレード）*羽幌：人工透析管理監視システム（更新）</p> <p>○許可・運用病床の変更 *向陽ヶ丘（H28.6.20～）：【許可・運用】精神 146床→105床 *北見（H28.8.1～）：【許可】一般 130床→70床、【運用】一般 38床→70床</p> <p>○医療安全委員会の開催等 各病院に設置している医療安全委員会にインシデント・アクシデントの集計と要因分析や職員の安全管理に対する啓発、教育、指導等を行うリスクマネジメント部会を設置し、実効性のある取組の推進により医療の質の向上を図るとともに、事故防止体制の確立に努めている。</p> <p>○ コドモックルにおいて新たなパスの導入を進め、効率的な診療を行うことよって収益確保を図った。 【パスの状況】</p> <table border="1" data-bbox="871 603 1785 823"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">パスの数</th> <th rowspan="2">適用件数 (件)</th> <th rowspan="2">適用割合 (%)</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江差</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>49</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>北見</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>羽幌</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>緑ヶ丘</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>119</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>向陽ヶ丘</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>265</td> <td>46.7</td> </tr> <tr> <td>コドモックル</td> <td>33</td> <td>35</td> <td>661</td> <td>24.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>76</td> <td>79</td> <td>1,117</td> <td>19.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 各病院においては、外来や病棟ごとに「患者満足度調査」を実施し、その結果を前年度の結果と比較検証するとともに院内で共有し、満足度が低いと判断される項目について、改善可能なものから、療養環境を見直しを行ってきている。今年度においてもこれらの取組を継続し、患者サービスの向上に努めるとともに、本調査結果（主に下半期に実施）に基づく処理状況を点検し、改善点が維持されているかを検証する。 「患者満足度調査実施状況」 実施済：コドモックル、一部実施済：北見、下期実施予定：江差、羽幌、緑ヶ丘、向陽ヶ丘</p> <p>○施設整備、療養環境づくり 北見病院及び向陽ヶ丘病院については、各々予定どおり改築工事を終了し、向陽ヶ丘病院は6月20日、北見病院は8月1日に新病院を開院した。</p> <p>○HP, Facebook, Twitter, メルマガ等を活用し道立病院のPRの実施 ○道立病院室ホームページ内の医療従事者確保のページをリニューアル ○各病院の季刊誌等の発行</p>	病院名	パスの数		適用件数 (件)	適用割合 (%)	H27	H28	江差	34	34	49	5.1	北見	1	2	0	0.0	羽幌	3	3	23	6.7	緑ヶ丘	3	3	119	13.6	向陽ヶ丘	2	2	265	46.7	コドモックル	33	35	661	24.5	合計	76	79	1,117	19.0
病院名	パスの数		適用件数 (件)	適用割合 (%)																																							
	H27	H28																																									
江差	34	34	49	5.1																																							
北見	1	2	0	0.0																																							
羽幌	3	3	23	6.7																																							
緑ヶ丘	3	3	119	13.6																																							
向陽ヶ丘	2	2	265	46.7																																							
コドモックル	33	35	661	24.5																																							
合計	76	79	1,117	19.0																																							

プラン	自己点検・評価																																																										
<p>(4) 一般検診、人間ドック等の拡大 ア 検診や人間ドックの拡大</p> <p>イ 地域での保健・予防活動への支援</p> <p>(5) 未収金の発生防止等</p> <p>(6) 診療報酬請求への的確な対応 ア 新たな施設基準の積極的な取得 イ 診療行為の記録漏れ等の発生防止</p> <p>(7) 適正な受益者負担 ○ 使用料、手数料の原価に照らした適正な見直し</p>	<p>【検診実績】 (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="725 256 1402 440"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">検診実績</th> <th colspan="2">ドック実績</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28上期</th> <th>H27</th> <th>H28上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江差</td> <td>1,089</td> <td>407</td> <td>37</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北見</td> <td>182</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>羽幌</td> <td>243</td> <td>47</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,514</td> <td>464</td> <td>38</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※北見病院の心臓ドック・肺ドックは医師不足につき休止中。</p> <p>○地域活動の実施 羽幌：へき地への巡回診療を実施（羽幌町2地区、苫前町2地区） 向陽ヶ丘：認知症疾患医療センターによる地域住民への啓発</p> <p>○公開講座等の実施 北見：糖尿病に関する講演（看護の日）、羽幌：出前講座1回、緑ヶ丘：地域公開講座3回、 コドモックル：地域連携セミナー7回</p> <p>○ 担当者研修会開催、滞納者の生活状況に適した対応、出張徴収、電話催告の実施などによる早期回収診療費未納整理強化月間を実施し、回収強化に努め、休日・夜間診療の際の医療費預り金制度を活用した滞納の発生防止に努めた。</p> <p>○過年度分個人医業未収金 上半期残高の推移 (単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="725 908 1671 983"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額</td> <td>34,977,298</td> <td>29,310,501</td> <td>32,070,074</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 平成28年度上半期において、以下の施設基準等を新たに届出。</p> <p>【各病院の施設基準（新規分）】</p> <table border="1" data-bbox="725 1070 1671 1310"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>名称</th> <th>新施設基準取得による年間収益増見込額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江差</td> <td>後発医薬品使用体制加算1</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>北見</td> <td>薬剤管理指導料</td> <td>4,712</td> </tr> <tr> <td>羽幌</td> <td>地域包括ケア入院医療管理料</td> <td>16,348</td> </tr> <tr> <td>緑ヶ丘</td> <td>検体検査管理加算(Ⅰ)→(Ⅱ)</td> <td>1,120</td> </tr> <tr> <td>向陽ヶ丘</td> <td>CT撮影（コンピュータ断層撮影）</td> <td>1,530</td> </tr> <tr> <td>コドモックル</td> <td>退院支援加算3</td> <td>2,852</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 現在、無償交付としている文書作成手数料（特定疾患治療研究事業・小児慢性特定疾患治療研究事業に係るもの）の見直しについて検討中。</p>	病院名	検診実績		ドック実績		H27	H28上期	H27	H28上期	江差	1,089	407	37	17	北見	182	10	—	—	羽幌	243	47	1	4	合計	1,514	464	38	21		H26	H27	H28	金額	34,977,298	29,310,501	32,070,074	病院名	名称	新施設基準取得による年間収益増見込額（千円）	江差	後発医薬品使用体制加算1	32	北見	薬剤管理指導料	4,712	羽幌	地域包括ケア入院医療管理料	16,348	緑ヶ丘	検体検査管理加算(Ⅰ)→(Ⅱ)	1,120	向陽ヶ丘	CT撮影（コンピュータ断層撮影）	1,530	コドモックル	退院支援加算3	2,852
病院名	検診実績		ドック実績																																																								
	H27	H28上期	H27	H28上期																																																							
江差	1,089	407	37	17																																																							
北見	182	10	—	—																																																							
羽幌	243	47	1	4																																																							
合計	1,514	464	38	21																																																							
	H26	H27	H28																																																								
金額	34,977,298	29,310,501	32,070,074																																																								
病院名	名称	新施設基準取得による年間収益増見込額（千円）																																																									
江差	後発医薬品使用体制加算1	32																																																									
北見	薬剤管理指導料	4,712																																																									
羽幌	地域包括ケア入院医療管理料	16,348																																																									
緑ヶ丘	検体検査管理加算(Ⅰ)→(Ⅱ)	1,120																																																									
向陽ヶ丘	CT撮影（コンピュータ断層撮影）	1,530																																																									
コドモックル	退院支援加算3	2,852																																																									

## ■委員会点検・評価

- 高額医療機器の整備にあたっては、引き続き、全国的な価格情報を収集し、契約価格、保守料のあり方等を検証しながら費用の縮減に努めること。
- 療養環境の更なる向上に向けて、患者満足度調査の結果に基づく改善状況の点検・検証を行うこと。
- 江差病院の地域包括ケア入院管理料など、取得可能な施設基準について、遅延無く届出を行うとともに、算定した収益が確保できるよう患者確保に努めること。
- 診療報酬の請求状況について点検を実施するなど、請求漏れの防止を徹底すること。

## 2 費用の縮減

プラン	自己点検・評価																					
<p>(1) 病床規模の適正化</p> <p>ア 病床利用率等の状況を見極めた病床規模の適正化</p> <p>イ 適正化後の施設の有効活用の検討</p>	<p>○ 現在、新たな病院事業改革プランにおいて各病院の役割・機能の方向性等の考え方をとりまとめている。</p>																					
<p>(2) 職員の適正配置</p> <p>業務量等を勘案した職員の適正配置</p>	<p>○ ⑧ [江差] 看護師 2 減→臨床工学技士定数 2 増 (H28 年度～)</p> <p>○ 医療連携専門員 (MSW)【特別職非常勤職員】の配置 [江差・北見・羽幌] (H27～H28 継続)</p>																					
<p>(3) 医薬材料費の節減</p> <p>ア 購入の一元化等による廉価購入の実施</p> <p>イ 後発医薬品の使用拡大</p> <p>ウ 遊休品や死蔵品の発生の防止等の適正な在庫管理</p>	<p>○ 他の自治体病院の医薬品の購入単価等の情報を活用することにより、廉価購入に努めた。</p> <p>○ 後発医薬品使用割合は、新指標値で全病院目標平均値は 74.5%であるのに対して、上半期全病院実績平均値は 72.4%に止まった。</p> <p><b>後発医薬品採用率(新基準)</b></p> <table border="1" data-bbox="882 632 1671 871"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H28上半期実績</th> <th>H28目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江差病院</td> <td>76.1%</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>北見病院</td> <td>76.4%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>羽幌病院</td> <td>76.9%</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>緑ヶ丘病院</td> <td>68.2%</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>向陽ヶ丘病院</td> <td>64.9%</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>コドモックル</td> <td>71.8%</td> <td>71%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H28上半期実績	H28目標値	江差病院	76.1%	73%	北見病院	76.4%	80%	羽幌病院	76.9%	85%	緑ヶ丘病院	68.2%	71%	向陽ヶ丘病院	64.9%	67%	コドモックル	71.8%	71%
病院名	H28上半期実績	H28目標値																				
江差病院	76.1%	73%																				
北見病院	76.4%	80%																				
羽幌病院	76.9%	85%																				
緑ヶ丘病院	68.2%	71%																				
向陽ヶ丘病院	64.9%	67%																				
コドモックル	71.8%	71%																				
<p>(4) 業務委託の推進</p> <p>契約内容の積極的な見直しによる経費節減</p>	<p>○ 引き続き、医事業務、医師事務作業補助、院内保育所業務、電気工作物保安業務に関して、本庁一括契約を行うことで、費用面のスケールメリットを確保し、費用を縮減に努めている。</p>																					
<p>(5) 固定資産の用途変更等</p> <p>未利用の資産の用途変更、廃止、処分等の検討</p>	<p>○ 引き続き、緑ヶ丘病院の農場及びグラウンドについて、地域の実情を見ながら売払等検討をしていく。</p> <p>旧北見病院については、年度内に当該土地及び庁舎等の不動産鑑定を行い、売払入札を行う。</p> <p>旧向陽ヶ丘病院については、現在、庁舎を解体工事中、来年度から外構工事を実施し終了後、駐車場として活用予定。</p>																					
<p>(6) 管理経費等の節減</p> <p>光熱水費等の節約や事務用品の廉価購入等による節減</p>	<p>○ 療養環境に十分に配慮しながら、各病院で光熱水費の節減に努め、費用削減を図った。</p> <p>○ 修繕費など営繕管理経費については、定期点検等を行うなどして、長寿命化に努め経費を節減した。</p>																					



### 3 職員の意識の向上

プラン	自己点検・評価
<p>(1) 職員の満足度の向上 職員満足度調査の実施等による働きやすい職場環境の整備</p>	<p>○ 道立病院に勤務する職員を対象に行った満足度調査の結果、満足度が低い傾向にあった項目（職員配置、休息環境、業務量、仕事中のストレス等）について改善策を検討するなどし、各病院の職場環境の改善を図ることにより、働きやすい職場の整備に努めている。</p> <p>「主な取り組み」:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師事務作業補助者の配置による医師の負担軽減</li> <li>・ 夜勤対応可能な臨時職員の任用、夜勤要員数に配慮した各部門間の人員配置と平均夜勤回数の低減</li> <li>・ 新人看護職員のキャリアサポートによる離職率の低減等</li> </ul>
<p>(2) 経営参画意識の向上 病院理念や経営情報の共有による職員全員の経営参画意識の向上</p>	<p>○ 新たな改革プラン策定に向けて、全ての病院で病院事業の現状や今後の方向性に関する説明会を開催。</p> <p>○ 本庁職員が病院現場に出向いて、現場での課題及び解決のための方策について意見交換を実施。</p>
<p>(3) 改善意識の向上 業務改善提案の奨励等による一人一人の改善意識の向上</p>	<p>○ 取組方針を十分に協議のうえ策定し、各々具体的な取組を進めている。</p>

#### ■委員会点検・評価

- 費用については、上半期の収支状況を踏まえ、引き続き、患者の療養環境に配慮しながら、縮減に努めること。
- 後発医薬品の利用は、患者負担の軽減にも寄与することから、さらなる利用拡大に努めること。
- 職員満足度調査を実施するとともに、全部適用への移行後の取組や新たな改革プランにおける病院の役割等について、病院職員との意見交換を行い、今後の経営改革に向けた考え方について意識を共有すること。

### 第3章 収支計画及び数値目標の達成状況に係る評価

#### 【 注 意 事 項 】

◎ 次ページ以降の表における以下の事項中「上半期実績（推計値）」欄は、年度末など特定の月に半期分や年間分が執行される次の費目について、年間予定額を月額平均し、各月の実績に加算している。

○収益

- ・補助金
- ・長期前受金戻入（補助金等分の減価償却費見合い）

○費用

- ・給与費のうち、手当（賞与分）、賞与引当金繰入額、賞与分法定福利費引当金繰入額、法定福利費、退職給付費
- ・減価償却費
- ・支払利息のうち、企業債利息、長期借入金利息
- ・長期前払消費税勘定償却

◎ なお、他会計負担金は算入していない。

### 第3章 収支計画及び数値目標の達成状況に係る評価

#### (1) 病院事業共通

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価
(単位:百万円)					
区 分	H28年間目標	上半期実績 (推計値)	H27上半期実績 (推計値)	対H27比	<p><b>【患者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道立病院の利用促進に向けた関係機関や住民向けの取組を引き続き実施しているが、1日平均患者数は、主要診療科での医師の減少や、北見・向陽ヶ丘新病院移転に伴う受入調整などが影響し、入院は前年度比88.9%と減少した。</li> <li>外来については、ほぼ前年並みの患者数で推移している。</li> </ul> <p><b>【収 益】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益は、1人当たり診療単価の増に努めたが、入院患者数が減少したことが大きく影響し、入院収益は前年度比92.5%に止まった。</li> <li>外来収益は、前年度比3.2%増で推移している。</li> <li>医業外収益は、長期前受金戻入が昨年度と比べ減となったことなどから、前年度比70.8%に減少した。</li> </ul> <p><b>【費 用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>費用は、北見・向陽ヶ丘病院の移転による経費増が生じたものの、縮減に努め、前年同期を下回っている。</li> </ul>
	A	B	C	B / C %	
収 益 (a)	11,761	4,947	5,537	89.3%	
うち 医 業 収 益	9,469	3,880	4,041	96.0%	
うち 入 院 収 益	6,451	2,469	2,670	92.5%	
うち 外 来 収 益	2,889	1,340	1,299	103.2%	
うち 医 業 外 収 益	2,275	1,043	1,474	70.8%	
うち 療 育 入 所 収 益	750	318	333	95.5%	
1日平均入院患者数	552	437.8	492	88.9%	
1日平均外来患者数	1,121	1,028.1	1,036	99.3%	
	A	B	C	B / C %	
費 用 (b)	17,867	7,902	8,316	95.0%	
うち 医 業 費 用	15,361	6,780	6,553	103.5%	
うち 医 薬 材 料 費	2,116	874	892	98.1%	
医薬材料費比率(%)	23.0	23.0	20.3	—	
うち 医 業 外 費 用	2,438	1,069	1,124	95.1%	
うち 療 育 費 用	1,735	759	834	91.0%	

#### ■委員会点検・評価

- 医業収益が上がっていない要因としては、主要診療科における医師の減や新病院移転に伴う患者受入調整等による入院患者の減により入院収益が減少したことが影響している。下半期にむけて、特に新病院での収益確保に重点的に取り組むこと。
- 今後、新たな改革プランで目標としなければならない病床利用率は70%であり、各病院で病床利用率を向上させるための取組を検討すること。
- 費用については、収益が減少していることを踏まえ、引き続き節減に努めること。

(2) 江差病院

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価
(単位:百万円)					<p><b>【患者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院は、外科の常勤医が不在による外科及び消化器科等入院患者の減が大きく影響し、前年度比92.5%に止まった。</li> <li>外来は、整形外科医が増となったが、外科医の減により、昨年度実績をやや下回った。</li> </ul> <p><b>【収益】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院・外来収益ともに、患者数減少により前年度実績を下回り、それぞれ前年比 89.9%、94.6%となった。</li> </ul> <p><b>【費用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の採用率向上、経費の節約等により、縮減を図っている。</li> </ul> <p><b>【H27 年間評価を踏まえた取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設基準の不足により運用開始が遅れている地域包括ケア病床の整備 (H29.2 予定) に向けた準備に取り組んだ。</li> <li>今後の適正病床数や病床機能等について、地域 (周辺 4 町) と意見交換を実施した。</li> </ul>
区 分	H28年間目標 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B / C %	
収 益 (a)	2,467	913	987	92.5%	
うち 医 業 収 益	2,198	776	843	92.1%	
うち 入 院 収 益	1,297	392	436	89.9%	
うち 外 来 収 益	856	360	381	94.6%	
うち 医 業 外 収 益	260	131	130	—	
1 日 平 均 入 院 患 者 数	126.0	82.8	89.6	92.5%	
1 日 平 均 外 来 患 者 数	369.0	306.2	318.9	96.0%	
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	82.9	54.5	60.8	89.6%	
区 分	H28年間予定 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B / C %	
費 用 (b)	3,217	1,356	1,404	96.6%	
うち 医 業 費 用	3,047	1,274	1,316	96.8%	
うち 医 薬 材 料 費	475	175	184	94.7%	
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	22.6	23.2	22.6	—	

■委員会点検・評価

- センター病院の機能として、患者数・医業収益を確保する上で重要な外科医の確保に取り組むこと。
- 運用開始が遅れている地域包括ケア病床について、早期に整備を進めるとともに、運用後の患者確保、退院後の受入先確保のための準備を行うこと。
- 新たな改革プラン、地域医療構想の策定を期に、南檜山地域における将来の医療提供体制のあり方について、周辺自治体・医療機関と協議する機会を設けること。

### (3) 北見病院

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価	
(単位:百万円)						
区 分	H28年間目標 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
収 益 (a)	1,828	723	701	103.2%	<b>【患者数】</b> ・ 入院は、循環器内科医1名減や新病院移転に伴う患者調整の影響により、前年度比90.2%に止まった。 ・ 外来は、地域医療機関との連携や紹介状のない患者の積極的受入等新規患者の確保により、前年度比2.5%増加している。 <b>【収 益】</b> ・ 入院収益は、新病院移転に伴う手術検査不可期間があったことなどが影響し、前年度比85.1%と減少した。 ・ 外来収益は、患者増等により、前年度実績を上回る収益を確保した。 <b>【費 用】</b> ・ 新病院移転に伴う経費を要したため、前年度よりも増加しているが、移転経費を除いては縮減を図っている。 <b>【H27 評価を踏まえた取組】</b> ・ 新病院に隣接する北見赤十字病院との連携を強化し、医師の相互応援等、一体的な診療体制の確保に努めた。	
うち 医 業 収 益	1,424	560	613	91.3%		
うち 入 院 収 益	1,141	413	486	85.1%		
うち 外 来 収 益	275	143	124	115.6%		
うち 医 業 外 収 益	403	160	87	—		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	37.9	27.5	30.5	90.2%		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	65.0	63.9	62.3	102.5%		
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	65.1	57.0	79.0	72.2%		
区 分	H28年間予定 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
費 用 (b)	2,559	1,131	942	120.0%		
うち 医 業 費 用	2,457	1,097	925	118.6%		
うち 医 薬 材 料 費	565	223	239	93.1%		
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	40.9	40.1	39.3	—		

#### ■委員会点検・評価

- 新病院移転のため、患者調整により入院収益が減少せざるを得ない中、外来収益の増により前年度を上回る実績を残したことは評価。  
下半期については、新病院の機能をフルに発揮し、より一層の収益確保に努めること。
- 隣接する北見赤十字病院との連携のもと、高度・専門医療機能の更なる充実を図ること。

#### (4) 羽幌病院

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価	
(単位:百万円)						
区 分	H28年間目標 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
収 益 (a)	1,161	506	501	101.1%	<p><b>【患者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院は、6月から地域包括ケア病床12床の運用を開始したが、前年度比85.4%と減少した。</li> <li>外来は、前年度実績と同程度の患者数を確保できている。</li> </ul> <p><b>【収 益】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院収益は、患者数減の影響が大きく、前年度比87.9%に止まっている。</li> <li>外来収益は、患者数が前年並みで推移し、肝炎治療の実施などにより、前年度実績を上回っている。</li> </ul> <p><b>【費 用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査機器の新規導入等により、医薬材料費が増加したものの、その他で縮減を図っている。</li> </ul> <p><b>【H27 評価を踏まえた取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア病床について、関係機関が集まる会議で周知し、利用促進に向けた協力を依頼するなど、利用率向上に向けた取組を実施した。</li> <li>地域医療構想調整会議を活用するなどし、地域関係者との協議の場を設け、病床機能の転換、医療機関の再編などの可能性を含めた医療提供体制のあり方について検討している。</li> </ul>	
うち 医 業 収 益	984	410	413	99.4%		
うち 入 院 収 益	382	120	137	87.9%		
うち 外 来 収 益	581	272	262	104.0%		
うち 医 業 外 収 益	175	87	87	—		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	36.0	22.4	26.2	85.4%		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	217.0	198.6	198.5	100.1%		
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	80.0	49.8	56.4	88.2%		
区 分	H28年間予定 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
費 用 (b)	1,861	847	848	99.9%		
うち 医 業 費 用	1,741	779	790	98.7%		
うち 医 薬 材 料 費	250	119	103	115.5%		
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	26.0	30.3	25.8	—		

#### ■委員会点検・評価

- 今年度から新たに整備した地域包括ケア病床について、周辺医療機関・福祉施設等に広く周知するなど、病床利用率の向上を図ること。
- 圏域のもう1つのセンター病院である留萌市立病院とも役割分担・連携を図りながら、患者確保に努めること。
- 患者数の減少傾向に歯止めがかからないことや医育大学からの医師派遣を受けることも大変難しいことから、自治医科大学出身医師の積極的な採用と総合診療医の配置を早急に検討すること。
- 今後、道立病院として果たす役割・機能を明確にし、地域の関係者の理解を深める取組を進めること。

(5) 緑ヶ丘病院

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価	
(単位:百万円)						
区 分	H28年間目標 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
収 益 (a)	1,239	631	631	100.1%	<p><b>【患者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院は、長期入院患者の地域移行の促進等により、前年度比 89.6%と減少しているが、外来は、新規患者の増加等により、前年度比 3.9%増加している。</li> </ul> <p><b>【収 益】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院収益は、診療単価の増に努めたが、患者数の減等により、前年度比 96.6%に止まった。</li> <li>外来収益は、訪問看護の増や禁煙外来設置等による患者増により、前年度を上回って推移している。</li> </ul> <p><b>【費 用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費等の経費の節約等により、縮減を図っている。</li> </ul> <p><b>【H27 評価を踏まえた取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病床利用率向上に向け、周辺住民への地域公開講座の実施や入院のしおりの見直しなどのサービス向上等患者確保に関する取組を実施した。</li> </ul>	
うち 医 業 収 益	1,145	579	578	100.2%		
うち 入 院 収 益	814	392	406	96.6%		
うち 外 来 収 益	316	178	160	111.6%		
うち 医 業 外 収 益	92	48	50	—		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	107.0	95.5	106.6	89.6%		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	167.0	173.6	167.1	103.9%		
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	78.1	69.7	86.1	80.9%		
区 分	H28年間予定 A	上半期実績 (推計値) B	H27上半期実績 (推計値) C	対H27比 B/C %		
費 用 (b)	2,000	899	897	100.2%		
うち 医 業 費 用	1,956	874	873	100.1%		
うち 医 薬 材 料 費	90	37	36	102.0%		
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	8.0	6.4	6.3	—		

■委員会点検・評価

- スーパー救急病棟の利用率維持に努めること。
- 入院患者は減少傾向にあるため、積極的な患者確保と診療単価の増に努めること。

(6) 向陽ヶ丘病院

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価	
(単位:百万円)						
区 分	H28年間目標	上半期実績 (推計値)	H27上半期実績 (推計値)	対H27比		
	A	B	C	B/C %		
収 益 (a)	979	451	418	107.9%	<b>【患者数】</b> ・ 入院は、新病院移転による患者調整等により、前年度比78.5%と大きく減少した。 ・ 外来は、デイケアで新規通所者が確保できなかったこと等により、前年度比95.4%となった。 <b>【収 益】</b> ・ 入院収益は、患者数の減や指定医減による診療単価減等により、前年度比77.8%と減少した。 ・ 外来収益は、診療単価増により、前年度比は1.9%増加した。 <b>【費 用】</b> ・ 移転関連経費を除き、後発医薬品の採用率向上、光熱水費等の経費の節約等により、縮減を図っている。  <b>【H27 評価を踏まえた取組】</b> ・ 機能として有する認知症疾患医療センターについては、認知症に関する講演や出前講座の実施、地域イベントへの参加し認知症相談を受けるなど、認知症の早期発見・早期治療の必要性等正しい知識の普及にあわせ、当該センターのPRを行い利用者確保に努めた。	
うち 医 業 収 益	758	341	401	85.0%		
うち 入 院 収 益	496	215	277	77.8%		
うち 外 来 収 益	251	121	119	101.9%		
うち 医 業 外 収 益	218	109	14	—		
1 日 平 均 入 院 患 者 数	90.0	78.5	100.1	78.5%		
1 日 平 均 外 来 患 者 数	139.0	124.5	130.5	95.4%		
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	73.2	63.9	71.0	90.0%		
区 分	H28年間予定	上半期実績 (推計値)	H27上半期実績 (推計値)	対H27比		
	A	B	C	B/C %		
費 用 (b)	1,773	775	644	120.4%		
うち 医 業 費 用	1,681	748	627	119.2%		
うち 医 薬 材 料 費	77	48	48	100.9%		
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	10.5	14.3	12.1	—		

■委員会点検・評価

- 新病院の療養環境や認知症疾患医療センターなどの病院機能をより一層PRし、広域で利用者の拡大に努めること。



(7) 子ども総合医療・療育センター

数値目標に対する実績見込					自己点検・評価
(単位:百万円)					
区 分	H28年間目標	上半期実績 (推計値)	H27上半期実績 (推計値)	対H27比	
	A	B	C	B/C %	
収 益 (a)	4,084	1,719	1,715	100.3%	<p><b>【患者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院は、心臓血管外科や脳神経外科等で手術患者数が少なかったこと、平均在院日数の短縮化等により、前年度比 94.1%と減少した。</li> <li>外来は、医療機関への周知文書発送や地域連携セミナーなど患者確保に努め、前年度実績を上回った。</li> </ul> <p><b>【収益】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院収益は、患者数が減少する中、診療単価増に努め、前年度実績を上回った。</li> <li>外来収益は、診療単価も増加し、前年度実績を上回っている。</li> </ul> <p><b>【費用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の採用率向上や医薬材料費の削減により、縮減を図っている。</li> </ul> <p><b>【H27 評価を踏まえた取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産科診療再開に伴い、ハイリスク胎児への出生前からの母子の受入に努めた。</li> </ul>
うち 医 業 収 益	2,959	1,213	1,193	101.7%	
うち 入 院 収 益	2,321	937	928	100.9%	
うち 外 来 収 益	610	265	253	104.6%	
うち 医 業 外 収 益	1,125	506	522	—	
うち 療 育 入 所 収 益	750	318	333	95.5%	
1 日 平 均 入 院 患 者 数	155.0	131.0	139.2	94.1%	
1 日 平 均 外 来 患 者 数	164.0	161.3	158.5	101.8%	
病 床 利 用 率 (%) ( 運 用 病 床 ベ ー ス )	74.2	62.7	64.9	96.6%	
区 分	H28年間予定	上半期実績 (推計値)	H27上半期実績 (推計値)	対H27比	
	A	B	C	B/C %	
費 用 (b)	6,101	2,735	2,842	96.3%	
うち 医 業 費 用	4,135	1,856	1,873	99.1%	
うち 医 薬 材 料 費	659	273	281	97.2%	
医 薬 材 料 費 比 率 (%)	22.7	22.7	23.8	—	
うち 医 業 外 費 用	1,927	853	928	91.9%	
うち 療 育 費 用	1,735	759	834	91.0%	

■委員会点検・評価

- 産科の診療再開、心臓血管外科での手術実施例を積極的にPRするとともに、他の産科標榜医療機関に対し、特定機能周産期母子医療センターの機能等について周知するなどして連携に努め、患者確保に繋がる取組を進めること。